

令和6年度 能勢町会計決算を認定 決算常任委員会報告

9月17日・19日・22日・24日 開催

決算常任委員会に付託された「令和6年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定」については、9月17日、19日、22日に委員会を開催し、決算内容を審査しました。

採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

◇ 令和6年度能勢町一般会計歳入歳出決算認定

認 否

認定

森田 則子	川口 省子	中植 昭彦	岡田 康司	畠中 勝身	岡本ひとし	難波希美子	中西 顕治	八木 修	井上加奈子
○	○	○	○	○	○	×	○	×	委員長

注:委員長は採決に加わりません。

総務部（総務課・理財課・住民課）、出納室、議会事務局

問 公共交通の維持・継続を図るための補助、乗合タクシーの利用状況等を問う。

答 令和6年度も、阪急バスの赤字分に対し補助金を支出している。

乗合タクシー停留所は令和6年度末時点で123ヶ所あり、令和7年4月からは全域に運行エリアを拡大し、145ヶ所となっている。そのうち56ヶ所の停留所が1度も利用されていない状況である。

また、1便当たりの利用者数は1.18人で、予約の際に若干時間をずらすなど、乗り合いをお願いしている状況である。引き続き、行政、交通事業者、町民の三位一体で考える必要がある。

問 地域おこし協力隊の現在の活動について問う。

答 現在は移住希望者に対して、町の魅力発信や、空き家相談等を行う協力隊と物産センターと連携した協力隊の2名が活動中である。物産センターではブランド野菜の販売促進や、関係団体との連携による農業振興に向けた取組みを行っている。他、大阪・関西万博への出展などの活動を行った。

問 電算管理事業のガバメントクラウドについての進捗を問う。

答 現行システムから標準化の移行を行うと、現状との比較で費用が増加するが、普通交付税に算入され、差し引きゼロではないかと思込みを立てている。
今年度中の移行に向けて取り組んでいる。

問 消防団再編に向けての取組みと基本的な再編方針について、また、令和6年度消防団出動回数を問う。

答 再編委員会を令和5年度6月から16回開催している。現在団員数は408名。
再編後は、通常消防団だけでは対応できない場合に備えて、機能別消防団を設けるかたちで408名と同等の人数を確保する考えである。
今後、消防団再編委員会の報告はホームページ等で周知していく。また、火災、警戒出動等合計25回、延べ566名が出動した。

福祉部（福祉課・健康づくり課）

問 成人歯科検診の受診率が低いことに対してどのように改善を図っているのか。また、能勢町以外の歯科医院でも受診できないのか問う。

答 令和7年度から20歳以上の偶数年齢の方へ対象範囲を拡げ、町内の歯科医療機関以外に淨りシアターでの集団検診でも歯科検診が受けられるよう取組みを始めた。今後生活圏である他市町でも受診が可能かどうか調査していく。